



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社ゲオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 梶田 義章 TEL 052-350-5711
グローバル経理財務部GM
半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	199,724	△7.4	5,414	△25.9	5,201	△40.0	2,825	△50.6
2024年3月期中間期	215,761	25.0	7,307	16.1	8,675	14.5	5,717	26.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,018百万円 (△46.9%) 2024年3月期中間期 5,683百万円 (22.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	71.15	70.85
2024年3月期中間期	144.62	143.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	249,908	89,646	35.8
2024年3月期	231,125	87,349	37.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 89,431百万円 2024年3月期 87,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	17.00	29.00
2025年3月期	—	17.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	436,000	0.5	12,000	△28.6	12,000	△36.0	6,000	△45.0	151.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	39,710,552株	2024年3月期	39,702,552株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	41株	2024年3月期	41株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	39,708,566株	2024年3月期中間期	39,536,664株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

当中間連結会計期間におきましては、雇用・所得環境が改善する下で、ゆるやかな景気回復が続くことが期待される一方で、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとして懸念されております。また、コロナ禍後の世界的な需要回復や、資源価格高騰に伴う物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があり、先行き不透明な状況で推移しております。

リユース業界におきましては、SDGsの考えの広まりや、物価高騰に伴う生活防衛策としての需要に加え、消費者間取引や企業環境活動での不用品回収などリユース関連行動へのアクセス性向上により、身近なライフスタイルへと変化するなど、様々な要因を背景にリユース市場の成長が継続しております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、お客様の選択可能性を広げ利便性を向上するため、インターネットを介した電子商取引の拡充の他、2nd STREETを中心としたリユース店舗の新規出店を、国内及び海外において積極的に推進し持続的成長と収益性向上の実現に取り組んでおります。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、従前からのリユース需要の広がりに加え、グローバル展開の拡大により堅調に推移した結果、リユース系リユース商材全体の売上は前年同期比10.9%増の87,324百万円となりました。

メディア系リユース商材の動向といたしましては、ゲーム関連商材はダウンロード版ソフト普及が進むものの、家庭用ゲーム機「PlayStation 5」本体の流通量増加やゲームユーザー数が増加傾向であることが下支えとなり、前年並みの売上となりました。また、スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器につきましては、市場の活性化に加え、「GEO mobile」の単独店出店やゲオ店舗の収益性改善に資する併設店展開、EC販売促進により販売機会を創出することで、小売販売を強化しております。以上の理由によりメディア系リユース商材全体の売上は前年同期比19.3%増の40,616百万円となりました。

新品商材の動向といたしましては、前年は前中間連結会計期間までの家庭用ゲーム機の販売好調及び大型新作タイトルのリリースがあったことで大幅な反動減となったことにより、売上は前年同期比40.1%減の44,492百万円となりました。

また、外国為替相場の大幅な変動により、為替差損776百万円を計上いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高199,724百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益5,414百万円（前年同期比25.9%減）、経常利益5,201百万円（前年同期比40.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益2,825百万円（前年同期比50.6%減）となりました。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店			F C店・代理店			合計	
	出店数	退店数		出店数	退店数			
ゲオグループ店舗数	1,980	64	31	150	1	12	2,130	(+22)
GEO	970	16	23	95	0	12	1,065	(△19)
2nd STREET（国内）	798	21	7	55	1	0	853	(+15)
2nd STREET（米国）	39	4	0	0	0	0	39	(+4)
2nd STREET（台湾）	32	4	0	0	0	0	32	(+4)
2nd STREET（マレーシア）	21	4	0	0	0	0	21	(+4)
2nd STREET（タイ）	2	1	0	0	0	0	2	(+1)
OKURA TOKYO（おお蔵）	22	1	1	0	0	0	22	(0)
LuckRack	21	3	0	0	0	0	21	(+3)
その他	75	10	0	0	0	0	75	(+10)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗（屋号：GEO、GEO mobile）をカウントしています。

3. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗（屋号：2nd STREET、Super 2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等）をカウントしています。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は168,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,702百万円増加いたしました。これは主に売掛金が1,508百万円減少した一方、現金及び預金が13,298百万円、商品が1,701百万円増加したことによるものであります。固定資産は81,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,079百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産のその他（純額）に含まれる使用権資産が1,809百万円、建物及び構築物（純額）が1,397百万円、有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定が768百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、249,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,782百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は45,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,066百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が875百万円増加した一方、流動負債のその他に含まれる短期借入金が1,500百万円、買掛金が1,125百万円、未払法人税等が682百万円減少したことによるものであります。固定負債は114,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,553百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が11,000百万円、社債が5,500百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、160,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,486百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は89,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,296百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益2,825百万円及び剰余金の配当674百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.8%（前連結会計年度末は37.7%）となりました。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ13,624百万円増加し、72,181百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は4,796百万円（前年同期は2,453百万円の増加）となりました。

これは、法人税等の支払額が2,927百万円、棚卸資産の増加額が1,810百万円、レンタル用資産取得による支出が1,217百万円、仕入債務の減少額が840百万円ありましたが、税金等調整前中間純利益が5,169百万円、減価償却費が2,971百万円、売上債権の減少額が1,439百万円、レンタル用資産減価償却費が1,355百万円ありましたが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は5,803百万円（前年同期は5,524百万円の減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が4,926百万円、無形固定資産の取得による支出が1,146百万円ありましたが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は14,787百万円（前年同期は3,160百万円の増加）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が4,124百万円、短期借入金の純減額が1,500百万円ありましたが、長期借入れによる収入が16,000百万円、社債の発行による収入が5,472百万円ありましたが主な要因であります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,977	68,276
売掛金	15,226	13,718
商品	70,970	72,671
その他	13,357	13,551
貸倒引当金	△223	△206
流動資産合計	154,308	168,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,856	19,253
その他（純額）	28,984	32,026
有形固定資産合計	46,840	51,280
無形固定資産	4,341	4,760
投資その他の資産		
敷金及び保証金	18,714	19,091
その他	7,817	7,658
貸倒引当金	△895	△892
投資その他の資産合計	25,635	25,857
固定資産合計	76,817	81,897
資産合計	231,125	249,908
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,692	13,567
1年内返済予定の長期借入金	8,737	9,612
未払法人税等	3,233	2,550
その他	20,824	19,690
流動負債合計	47,487	45,421
固定負債		
社債	6,600	12,100
長期借入金	64,325	75,325
資産除去債務	7,274	7,377
その他	18,088	20,038
固定負債合計	96,287	114,840
負債合計	143,775	160,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,251	9,257
資本剰余金	3,663	3,670
利益剰余金	74,339	76,489
自己株式	△0	△0
株主資本合計	87,254	89,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	2
為替換算調整勘定	△134	11
その他の包括利益累計額合計	△123	13
新株予約権	180	164
非支配株主持分	38	50
純資産合計	87,349	89,646
負債純資産合計	231,125	249,908

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	215,761	199,724
売上原価	139,874	117,937
売上総利益	75,886	81,787
販売費及び一般管理費	68,579	76,372
営業利益	7,307	5,414
営業外収益		
為替差益	947	-
不動産賃貸料	442	601
その他	573	479
営業外収益合計	1,963	1,081
営業外費用		
為替差損	-	776
その他	595	517
営業外費用合計	595	1,293
経常利益	8,675	5,201
特別損失		
減損損失	128	31
特別損失合計	128	31
税金等調整前中間純利益	8,546	5,169
法人税、住民税及び事業税	2,072	2,547
法人税等調整額	756	△256
法人税等合計	2,829	2,290
中間純利益	5,717	2,879
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	△0	54
親会社株主に帰属する中間純利益	5,717	2,825

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益	5,717	2,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△8
為替換算調整勘定	△36	147
その他の包括利益合計	△33	138
中間包括利益	5,683	3,018
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,684	2,962
非支配株主に係る中間包括利益	△0	55

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,546	5,169
減価償却費	2,587	2,971
レンタル用資産減価償却費	1,527	1,355
受取利息及び受取配当金	△46	△71
支払利息	124	234
売上債権の増減額（△は増加）	△1,045	1,439
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,285	△1,810
レンタル用資産取得による支出	△1,210	△1,217
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,847	△840
その他	△1,321	692
小計	5,030	7,921
利息及び配当金の受取額	33	41
利息の支払額	△122	△238
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,488	△2,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,453	4,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,177	△4,926
無形固定資産の取得による支出	△944	△1,146
その他	△1,403	269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,524	△5,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△6,000	△1,500
長期借入れによる収入	13,200	16,000
長期借入金の返済による支出	△3,477	△4,124
社債の発行による収入	-	5,472
配当金の支払額	△473	△676
その他	△88	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,160	14,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	265	△155
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	354	13,624
現金及び現金同等物の期首残高	46,564	58,556
現金及び現金同等物の中間期末残高	46,919	72,181

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）及び当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。